白山火山における重力・地磁気・地震活動の観測（1）

長尾年枝**、加藤隆司**、東田道也**、西上秋也**、平野嘉雅**、和田博夫**、藤井 眞**、
安田誠**、東野外志男**、高橋一男**、羽野芳雄**
（**金大理、*富大理、*京大防災研、*名大理、*県立加賀高、*石川県山石自然保護課、*金大文）

Geophysical Investigation of the Volcano Haku-san (1)

S. YASUDA**, T. HIGASHINO**, K. TAKAYANAGI* and Y. KOKO*

（*Knanawa Univ，*Toyana Univ，*Kyoto Univ，*Hyogo Univ，
*Kaga High Schl，*Hakusan Nat. Res. Cent.）

金沢の南方約50kmに位置する霊峰白山（2702m）は、これまで地震物理学的調査は行わされてこなかった。それは、白山周辺は国立公園として保護され、林道をふくむ道路網は未発達であり、山小屋も少なく、機器をもちいた調査を行うことは困難な地域であったからである。この地域において、白山の火山活動ボテンシャル、地下構造、火山災害予防などの基礎資料をうるため次のよう
な調査を行なった。Fig.1に白山山頂部におけるそれに測定点の位置とブーグ異常分布を示す。
(1) 重力異常：白山頂上一帯および白山周辺で測定。
(2) 磁気異常：白山頂上一帯で測定。
(3) 地震活動：白山室堂（2500m）、中飯塚（1700m）、および白山東部（岐阜県鳴谷）で臨時観測（時期は別々）。白山周辺の地震活動を知るために、
臨時観測データだけでなく、京大防災研北陸微小地震、同上室地殻変動、名大理山地微小地震の各
観測所の資料をもじって震源の再決定を行なった。白山はそれぞれの観測所から見るとそれぞれのネット
の外に位置している。

これらの調査を通じて、白山は①重力異常が急激に変化する地域に位置していること、②磁気異常分布から山頂近辺における障壁と火成岩堆積物
の分布を推定できること、③白山直下で地震活動が集中的に起こっていること、などがまず明らか
になった。

Fig.1 白山周辺における重力・地磁気
地震の観測点分布図。●重力異常測定点
（磁気異常もほぼ同じ）。
□: 地震観測測定点。コンターは地形補正
したブーグ異常。ITI：市道；NAC：中飯塚；
JIN：志ノ小屋；NAN：南堅が馬場；
MER：室堂；GOZ：御前峰；KEN：剣峰；
GNA：大長峰；OKU：太倉山；YOT：四
攀山；SHY：駒場岳。